

平成 29 年度都留市地域公共交通会議及び都留市地域公共交通活性化協議会 会議録

日時：平成 29 年 6 月 28 日（水）14：00～14：40

場所：都留市役所 3 階 大会議室

出席委員：高部剛会長、天野友一委員、田中一利委員、内藤公義委員、小俣一夫委員、荻窪守委員、渡辺厚委員、古屋毅委員（代理：池田）、勝俣勲委員（代理：速水）、保坂美樹委員、渡邊太郎委員、河村裕一委員、石井謙一委員（代理：皆本）、小林正人幹事、志村元康幹事、小宮敏明幹事、小林正樹幹事。

事務局：小俣地域環境課長、平井課長補佐、矢野地域振興担当リーダー、原田。

1 開会（司会：平井課長補佐）

○委嘱状交付（前委員任期：平成 27 年 6 月 28 日～平成 29 年 6 月 27 日）

任期満了に伴い、委員の委嘱をおこなう。（委員任期：平成 29 年 6 月 28 日～平成 31 年 6 月 27 日の 2 年間）

○新年度にあたり、新しい委員を迎えましたので、委員の皆さま、幹事、担当職員の順で、自己紹介を実施

2 市長あいさつ（都留市長 堀内富久）

本日は、大変ご多忙の折、地域公共交通会議並びに活性化協議会の第 1 回目の会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

全国の公共交通を取り巻く環境は、過疎化の進行やマイカーの普及等により、公共交通空白地域が発生、拡大し、さらには運行頻度の減少に伴い利用者の利便性が低下しており、年々厳しさを増しております。

本協議会は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域公共交通総合連携計画の実施に係る連絡調整、地域公共交通確保維持事業の実施に関する事など、地域公共交通の活性化及び再生のための地域における主体的な取組及び創意工夫を総合的、一体的かつ効率的に推進し、もって個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現に寄与することを目的としております。昨年 11 月には、新たに、道の駅つる線が運行開始となり、本市の公共交通も拡充されております。

今回の会議においては、市内の公共交通の現状を把握するとともに、これまでの取組

評価を行い、公共交通の課題や取組むべき点について、ご協議いただきたいと思いますと思っております。

地域住民が利用しやすく、安全快適な地域公共交通を確立するためには、利用者・事業者・行政とが協働し、持続可能な公共交通ネットワークの構築を図っていく必要があります。委員の皆様には、その働きかけをお願いするとともに、公共交通が「地域の足」として持続可能なものとなるよう、忌憚のないご意見をいただけますようお願い申し上げます。あいさつといたします。

3 報告事項

(1) 平成28年度 市内循環バス事業及び予約型乗合タクシー事業について

「会議資料1」により事務局から説明

※会議資料の説明

次第、次第の裏に名簿、席次、設置条例がございます。次に、会議資料1、会議資料2、バス運行時刻表、予約型乗合タクシーの運行経路・時刻表、最後に第2期都留市公共交通総合連携計画の順でご用意してあります。なお、会議資料3の道の駅つる線の報告及びバス停の変更資料につきましては、予定しておりましたが、昨日変更が生じたことにより、口頭での説明に代えさせていただきます。

資料が足りない方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ願います。

4 協議事項

(1) 都留市生活交通確保維持改善計画（案）の認定申請について

「会議資料2」により事務局から説明

※平成30年度事業においては、限られた予算をより効果的・効率的に配分する観点から、事前内定方式（補助対象経費の算出方法）の見直し、定時定路線型運行の補助要件の見直し、市町村毎の国庫補助上限額の算定方式の見直しなどを行うこととなっており、交付要綱等の改正作業に時間を要したことから、通常6月末の認定申請が8月末までに延長されております。

今年度につきましては、平成30年度の補助申請は、平成30年度分のみとし、運行予定に基づいた内容で提出しておくこととなっております。

ご承認いただければ、本案を協議会名で国土交通大臣あてに提出させていただくとともに、併せて今後において、補助金上限額や運行経費単価などの詳細につきましては、都度、事務局にて調整させていただくことを前提とさせていただきたくお願いいたします。

<質問・意見等>

【高部会長】

意見等、特にないようなので案のとおりとさせていただきます。

(2) その他

委員：特になし。事務局：特になし。

5 その他

事務局：路線バス「道の駅つる線」における報告といたしまして、昨年11月1日運行開始となり、11月から3月末までの乗車人数は、1,502人でした。運行につきましては、年度途中からの運行の為、分析しかねますが、公共交通全般の利用者利用者の増加を図るため、事務局、事業者、共同のまちづくり推進会と連携し、現在CATVの協力のもと、利用促進に向けた番組を制作しており、8月から放映の予定となっております。

また、路線上に雇用促進住宅入口バス停があるが、平成30年に完成予定のサービス付高齢者住宅（雇用促進住宅）に改築し、80人程度の高齢者の入居を予定していることから、現在のバス停は、入口より200m程離れているため、より利便性を高めて、利用者の増加を見込むため、新たな名称のバス停を新規で設置する方向で進めております。

6 閉会